

# 令和 2 年度事業報告

## 1 全体的事項

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という。)の世界的流行によって未曾有の経済停滞にさらされました。感染拡大防止対策が講じられ、外出自粛や接触機会の削減などが一段と進み、国内の経済社会活動の抑制を余儀なくされ、新型コロナは経済的な波及経路を広げながら国内の経済に甚大な影響をもたらしました。事業者や生活者が様々な影響を受ける中で、シルバー人材センターの仕事においても大きな影響を受けながら対応をしてきました。

このような状況下でも少子高齢化は常に進展しており、生産年齢人口が減少する一方で高齢者の増加が一層進む中、労働参加率も増加をしています。

国が策定した「ニッポン一億総活躍プラン」では、誰もが活躍できる全員参加型の「一億総活躍社会」の実現を目指しており、特にシルバー人材センターに対しては、就業時間の緩和によって業種及び職種における業務範囲の拡大や県連合会による高齢者活躍人材確保育成事業の展開などによって多様な就業機会の確保と会員拡大への様々な取組が図られました。

高齢化の進行とともに労働力人口が減少する中において、シルバー人材センターには人手不足分野や現役世代を支える分野、特に介護・子育て支援分野、深刻化する空き家管理対策への対応など地域社会を支える役割が求められています。

このような中で、令和 2 年度上田地域シルバー人材センターは、会員への就業機会の提供、会員拡大、高齢者の社会参加というシルバー人材センター本来の目的のため、

- ① 会員拡大に向けた積極的な広報活動や勧誘活動
- ② 地域住民や関係団体との連携による就業開拓活動や地域の高齢者の手が必要とされる分野の開拓
- ③ シルバー就業の適正就業の徹底と派遣事業への取組強化
- ④ 事故防止策及び安全体制の徹底と会員一人ひとりの安全意識の向上
- ⑤ 信頼されるシルバー人材センターを目指した技能講習や研修活動等の強化

の 5 項目を基本目標として定めるとともに、中期基本計画に盛り込まれた取組に従い事業展開を進めようとしてきましたが、新型コロナの影響を受け計画した様々な事業が実施できない年となりました。

令和 2 年度の最優先課題として取り組んでまいりました会員拡大については、会員が減少傾向にあるなかで、退会抑制においては退会者、特にご自身のご病気や加齢を理由とした退会が増加したことで、結果として前年度末実績を下回ることとなったこと

から健康推進活動を進めるとともに、会員拡大に向けて今後も継続した会員勧誘活動やシルバー事業への理解、関心を一層高める取組が必要となっています。

受注状況では、新型コロナの影響により大きなイベントが全て中止となり、この影響により公共の仕事が減少しました。また、企業活動が停滞したことによって就業制限を受けたほか、例年発注されていた仕事を従業員が行うなど、企業においても仕事が減少しました。一方、一般家庭については、除草・剪定・伐採作業などが増加したものの、大工工事などの技能分野や屋内外の軽作業が減少したことからはほぼ前年度並みの実績にとどまりました。

適正就業の観点から切り替えを進めている派遣事業では、従来の福祉施設等の運転業務に加え、企業等からの新たな受注や請負就業で受注していた大口企業の派遣就業への切り替えを進め大幅な増加となり、全体としても安定した伸びとなりました。

地域でのシルバー活動の起点として推進してきた班会活動は、新型コロナの影響を受け十分な活動に繋がりませんでした。会員どうしの仲間意識の向上や意見交換や情報交換を重ねることで、シルバー人材センター活動への理解を深め、一人一就業開拓、一人一会員拡大に向けた新たな取組を模索する機会となりました。

総務部門をはじめ、就業促進、安全適正就業、広報活動については各専門委員会の活動報告のとおり、コロナ禍の厳しい状況においてもそれぞれの立場で上田地域シルバー人材センターの健全な発展と活性化に努めました。

高齢者の社会参加が地域の課題となっている中で、上田地域シルバー人材センター事業に終始ご理解とご支援をいただきました国や県、関係市町村、関係機関、団体及び地域住民の皆様には厚くお礼を申し上げます。

## 2 各専門委員会の活動

### (1) 総務委員会

令和2年度は、現中期基本計画の後半年度にあたり、計画に盛り込まれた目標値を達成するため、各専門委員会との調整を図りながら取組を進めてきました。

特に、最大の目標である会員拡大については、コロナ禍においても昨年度に引き続き、特定費用準備資金を活用した「会員拡大特別対策事業」として、地元メディア、市町村広報誌の活用を一層充実させるとともに、PR事業は感染防止対策の取組として大型商業施設の協力を得て無人のカウンターを設置し、勧誘、PRグッズ等を活用してシルバー事業への理解と関心の啓発、会員の勧誘に取り組みました。残念ながら会員の増加には至りませんでした。コロナ禍においても前向きに取り組みを進めることでシルバー事業への理解と関心は高まったものと考えています。

会員懇談会は、国や県、市町村などの対応方針に沿い、新型コロナの第3波によって特別警戒レベルが上がる状況下において会員の安全、安心、健康を守ることを最優先にすべての地区で中止し、会議資料の配布のみとしました。また、開催を計画していた各種イベントや講習会についても中止としました。

会員懇談会や地区班会や班長会は、地域に根差したシルバー人材センターの根幹的な活動であり、会員相互の情報交換や意見交換の場として重要な取組であるため、新しいスタイルでの進め方を検討していく必要があります。

契約実績については、新型コロナという減少要因により、請負委任は前年度比が11.9%の減となりましたが派遣事業は79.9%増となり、会員の皆様のご努力により大きな減少を回避できた実績となりました。

人手不足分野として期待される「介護予防・日常生活支援総合事業」は4年目を迎え、地域に定着した活動になってきました。

## ア 指定管理施設の運営

上田市から指定管理者として管理運営を受託している2つのマレットゴルフ場については、新型コロナの感染防止対策として4月27日から5月20日までの間、市が施設を閉鎖しましたが、その後は感染予防対策を取りながら概ね良好に運営することができました。新型コロナの影響で利用者の数は減少したものの、一昨年10月の東日本台風（台風19号）後の復旧が完了していない千曲川河川敷のマレットゴルフ場の代替施設としての利用も引き続きあり、特に塩田の郷マレットゴルフ場については、11月末の営業終了を12月20日まで延長し、多くの愛好家にご利用いただきました。

また、塩田の郷マレットゴルフ場は、今年度上田市から新たに3年間の指定管理者として指定を受けることができ、天下山マレットゴルフ場は、指定管理者として2年目の運営をすることができました。

両施設とも会員はじめ多くの皆さんのボランティア活動に支えていただく中で、美しい芝のコース整備と利用者の満足度の向上に努める施設運営にあたってきました。

## イ 派遣会員の安全衛生への取組

労働安全衛生法に従い、衛生管理規程により衛生委員会の設置と産業医を選任して、毎月衛生委員会を開催し、会員の安全と健康確保対策に取り組んできました。

今年度は職員と会員の健康増進として、ストレスチェックを実施し、希望者に対しては産業医の面談を実施しました。

## (2) 就業促進委員会

令和2年度は新型コロナで始まり、新型コロナで終わった年でした。

この影響で、就業促進委員会で計画していたイベントでのチラシ配布も、イベント自体が全て中止になったため実施することができませんでしたが、唯一東御地区で開催されたイベントに参加することができました。また、各種研修や先進地研修視察なども中止にせざるを得ませんでした。10月のシルバー月間の対応も、対面でのチラシ配布ができませんでしたので、アリオ上田店及びハローワークにチラシを置かせていただきPRをするのみでした。

重点取組でありました就業拡大と会員拡大については、チラシ配布や企業訪問もできなかったため、上田市、東御市、長和町の広報誌に広告を掲載したほか、各種の冊子やチラシや上田市の封筒など掲載できるもののほとんどに広告を掲載し、会員拡大・就業拡大に取り組みました。

### ア 就業実績

令和2年度の状況ですが、請負は年度当初より新型コロナの関係により、行政のイベント等が中止になったことや、一般企業でも社員の出勤を控える等の対応がとられ、その結果シルバーの就業実績が大きく減少しました。この中には派遣への適正就業への取組も含まれていますが、その結果、年度末実績は9億7,242万円余で前年比88.1%と1億3,120万円余減となりました。発注先別では、前年比で公共が88.9%、民間企業が83.0%と減少しました。一般家庭だけが後半に取り戻し105.2%となりました。実績に対し受注件数を見ると前年20,182件に対し△1,243件と減少しました。

また、派遣事業は新型コロナの影響で、就業日数が減少した事業所もありましたが、それほど大きな影響もなく1億1,821万円余で前年比179.9%、5,205万円余の増となりました。この増加の要因は適正就業を進める中で、請負就業から派遣就業への変更が進んできていることによるものです。

請負・派遣の合計の総契約額は、10億9,064万円余となり前年比93.2%で7,869万円余の減という状況となりました。

また、令和2年度から始めたシルバーポイント制も、各種イベントが中止になったことからポイントが溜まりにくい状況でしたが、制度の周知を重ね、会員拡大・就業開拓等の面で一定の効果をあげることができました。

### イ 会員拡大・就業拡大の取組

会員拡大は65歳定年制が定着してきていることから、新会員の加入増加が大変難しくなっている状況であることやイベント開催が中止となり会員募集・就業拡大

のチラシ配布ができなかったこともあり、十分な会員拡大の取組ができませんでした。しかし、その分、行政広報へのチラシ掲載をはじめ各種冊子や新聞へのチラシの掲載を増加させ対応しました。会員による会員紹介を進めるべくシルバーポイント制を導入した結果、新規入会者数は210人と健闘しました。

また、入会説明会も新型コロナの感染防止対策から、開催方法を検討し、密を避けて開催し、1回の説明会の人数を減らし回数を2回から3回に増やし対応しました。

会員の高齢化に伴い病気による退会者が退会理由の39.1%を占めるなど増加傾向にあり、その結果、総体の会員数も1,983人となり、対前年は23人減少しました。

### 《会員拡大、就業拡大の具体的取組》

#### 【企業訪問】

就業開拓活動企業訪問	65 社
カレンダー配布企業等	244 社

#### 【参加イベント及びチラシ配布部数】

いきいきフェスティバル 2020	丸子地区	中止
巨峰の王国まつり	東御地区	中止
秋の収穫フェア (JA 主催)	東御雷電くるみの里	500 部
J Aフェスティバル真田会場	真田地区	中止
うえだ環境フェア	上田地区	中止
砥石・米山城まつり	上田第3B	中止
青木産業祭	青木・第4B	中止
上田地域産業展	県連合会との合同開催	中止
上小しんりん祭	全体行事	中止
刃物とぎ会場でのチラシ配布		218 部
配付部数 合計		718 部

#### ウ シルバーポイント制の実施

就業促進委員会ではポイント制を検討し、令和2年度からシルバーポイント制を導入しました。ポイント制は会員の皆さんのシルバー催事への参加や会員拡大・就業拡大への意識の向上を図るべく実施されましたが、令和2年度は新型コロナの関係で、ほとんどが中止になってしまったため、ポイントを集める機会が大変減ってしま

い、景品を交換された方が少なかった状況です。令和3年度も引き続き実施しますので、ポイントを集め景品を獲得してください。

#### 《ポイント付与催事等》

総会へ出席	1ポイント	きずな総会へ出席	1ポイント
安全講習会へ出席	2ポイント	新規会員紹介（1人）	5ポイント
懇談会へ出席	1ポイント	新規就業開拓（1ヶ所）	3ポイント
班会へ出席	2ポイント	夫婦会員（毎年）	2ポイント
ボランティアへ出席	2ポイント	班長（新規就任）	2ポイント

#### 《地区別景品獲得数》

地区	上田・青木地区	丸子・武石地区	東御地区	真田地区	長和地区	合計
6ポイントで景品獲得	28	36	70	6	20	160
12ポイントで景品獲得	2	4	14	0	11	31
18ポイントで景品獲得	0	0	1	0	7	8
地区合計	30	40	85	6	38	199

## エ 各種講習会の開催

シルバー人材センターでは、会員等の技能や技術の習得を目的に、県連合会による高齢者活躍人材確保育成事業や当センター独自の講習会については新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら開催しました。

- ① 高齢者活躍人材確保育成事業（長野労働局から県連合会への委託事業：運営は上田地域シルバー人材センターもタイアップ）
  - ・地域における人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を促進するため、広報活動、就業体験、技能講習などを通じてシルバー人材センターに対する理解を深めていただく事業を実施しました。

<技能講習>

講習名	講習期間	講習日数	参加者数
庭木・庭園管理講習	6月22日～26日	4日	14
観光ガイド養成講習	7月2日～10日	7日	12
日常生活支援講習	11月10日～12日	3日	9
3講座 合計			35人

<シニア世代のセミナー>

セミナー名	開催日	参加者数
こころとからだの健康づくり講座	8月5日	24
食育セミナー	12月8日	27
定年後の暮らしを考えるセミナー	2月10日	16
3セミナー 合計		67人

<就業体験>

体験就業名	開催日	参加者数
観光ガイド就業体験	7月27日、28日	11
ブドウ収穫体験	9月16日	9
2事業 合計		20人

② 独自技能講習・レベルアップ講習

剪定技術や駐車場整理など技能習得に時間のかかるものや国補助事業の対象とならない技能講習を上田地域シルバー人材センター独自講習として実施しています。

講習名	講習期間	講習日数	参加者数
現場写真の撮り方講習	6月30日	1日	10
派遣会員 交通安全講習	8月20日	資料配布	144
派遣会員 安全衛生講習	11月20日	資料配布	140

おそうじ講習	3月16日	1日	12
松剪定講習	3月17日	1日	15
5 講座合計			321人

## オ 派遣事業

顧客及び会員の就業ニーズに対応して、派遣事業の新たな受注に取り組みました。また、就業時間の緩和措置申請による就業時間の拡大への取組の実施と、顧客及び会員へ適正就業について説明をし、あらためて理解してもらう取組をおこない、令和2年度末現在で70事業部所において約146人が就業しています。

派遣契約実績は1億1,821万円となり前年比179.9%の状況となりました。

- ① 適正就業の徹底の中で「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に基づき、就業形態を確認し、請負業務から派遣業務への転換を進めるとともに、地域に信頼される派遣事業に取り組みました。
- ② 国の補助制度「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、派遣事業の拡充強化に努めました。

## カ 介護予防・日常生活支援総合事業

平成28年度から委託事業として取り組んできた介護予防・日常生活支援総合事業については、29年4月に上田市から事業所指定を受け、本格的に取り組んでいます。

新型コロナの感染拡大の影響を受け減少となり、令和2年度の訪問件数は338件、受託件数は掃除洗濯、調理など延べ1,453件となっています。就業会員は11人で契約金額は203万円余となっています。

東御支所でも平成28年11月から東御市地域包括介護支援センターからの委託事業として取り組んでいます。令和2年度の実績は訪問件数34件、就業会員は2人で受注額は23万円余となっています。

## キ 観光ガイド事業

令和2年度の観光ガイド班の活動は、新型コロナの感染拡大防止対策により「上田城千本桜まつり」のガイドが中止になり、10月下旬の再開まで約7カ月の休止を余儀なくされました。再開にあたっては、安全対策ガイドラインを徹底し、1月までの受注件数21件、延べ37人のガイドが従事しましたが、受注額は昨年度から大きく減少しました。

一方ボランティアガイドは、11月から開始し「上田城」、「まちなか観光案内所」でお客様人数延べ351人を案内し、地域貢献に寄与することができました。



観光ガイド班の運営は、次代を担う後継者の育成と人材確保が喫緊の課題であり、その課題解決に向けて「ガイド養成講習」や「ガイド実地検定」等を実施し、新たに13名のガイドが今春デビューする運びになりました。

また、ガイド自身の研鑽を高めるため「元気です講習会」を屋内外で開催し、併せてガイド同士を繋ぐ情報紙「観光ガイド通信」を発行するなど情報の共有化にも努めてきました。

今後も引き続き、信州上田観光協会や関係諸団体との連携を図り、かつ安全対策を遵守しながら、観光ガイド利用者への一層の誘客を進めていきます。

## ク 独自事業

きずな上田支部リフォーム班、丸子支部手芸班、の活動は新型コロナの影響により活動に至りませんでした。東御支部リフォーム班の手づくりマスクやエコバックの販売、JAいずみの里イベントへ参加した刃物研ぎ、わら細工班による注連飾りなどシルバー人材センターとしてできる範囲で独自事業に取り組みました。

### \*令和2年度末までの販売実績

上田支部リフォーム班	…	0千円
丸子支部手芸班	…	0千円
東御支部リフォーム班	…	5千円
刃物研ぎ（上田地区）	…	227千円
わら細工班（真田地区）	…	5,341千円

## ケ 令和2年度ボランティア活動実績

地区名	月 日	場 所	作業内容	参加者数
第1ブロック	—	—	—	
第2ブロック	—	—	—	
第3ブロック	—	—	—	
第4ブロック ・青木地区	8月1日	青木村役場	除草・草刈	30
	3月26日	塩田の郷マレットゴルフ場	落葉清掃	67
丸子・武石 地区	10月21日	武石ともしび博物館	除草・落葉 清掃	16
	10月29日	丸子ベルパーク	剪定・除草	36
東御地区	7月18日	東御市北御牧公民館周辺	除草・草刈	15
	9月15日	東御市総合福祉センター周辺	除草・草刈	40

真田地区	9月9日	特養アザレアン真田、大畑の家	除草・草刈	18
長和地区	—	—	—	—
きずな (上田・青木)	—	—	—	—
観光ガイド班	11月1日～ 29日	上田城跡公園	観光案内	15
	11月1日 ～23日	まちなか情報いいね館	観光案内	7
	3月4日 ～29日	上田城跡公園	観光案内	中止
	3月20日 ～30日	まちなか情報いいね館	観光案内	中止
9回 合計		9回		244人

### (3) 安全適正就業委員会

令和2年度の事故件数は、傷害事故が9件、賠償事故が9件、合計18件と、前年度の25件から3年ぶりに減少に転じました。事故の内容を見ると、現場状況の事前確認不足や注意不足など作業の基本動作を欠いており、未然に防げる事故が依然多発しています。また、飛石事故も相変わらず多く、重大事故に繋がりませんでした。また、刈払機で就業中の会員に怪我を負わせた事例もありました。作業中の事故発生防止に向け今まで以上に強力な対策が必要です。

#### ① 事故発生状況

事故発生件数の推移

年度・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	2	0	0	0	4	2	2	5	2	0	1	0	18件
令和元年度	2	1	4	0	5	2	3	2	4	0	1	1	25件
平成30年度	1	3	1	2	0	0	2	2	0	0	1	0	13件

令和2年度の主な事故内容

事故区分	事故の内容
賠償事故	会社構内の芝生部分の草刈りで、本来手取りする箇所を誤って刈り、草刈機で飛石により近隣にあった喫煙室、掲示板のガラスを破損させた。
〃	市営団地内の草刈りで、刈払機による飛石で通りかかった乗用車のサイドガラスを破損させた。
〃	アパート周辺の草刈り作業で、駐車中の乗用車の近辺を作業したため、飛石で車全体に傷をつけてしまった。
傷害事故	急斜面の草刈り作業(4人)で情報から滑り落ちた会員の仮払い機の刃が仮想で作業中の会員に当たり左足下腿に創傷を負った。
〃	水道検針作業で、当該住宅の検針確認中に玄関前の石の上に積もっていた枯葉で滑り転倒し、腰椎と肋骨を骨折した。
〃	支障木の枝落とし作業で落とした枝を細かくする作業で、片手で操作した小型チェーンソーが手にあたり裂傷を負った。

② 安全就業・交通安全講習会

令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策実施により計画していた安全就業・交通安全講習会の開催を中止しました。安全就業については資料を作成して、会員全員に配布し、周知徹底を図りました。

③ 安全パトロールの実施

上田地区、各支所において6月～10月にかけてパトロールを実施しました。

地区	個所	主な指摘事項
上田地区	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脚立の固定が不十分</li> <li>・ヘルメットの着用なし</li> <li>・防護ネット使用なし</li> <li>・刈払機のチップに欠けあり</li> </ul>
丸子支所	3	
東御支所	3	
真田支所	3	
長和支所	3	

④ 各種講習会の開催

新型コロナの感染防止対策実施により、講習会は全て中止しました。

⑤ 草刈り作業等における飛石事故防止対策

事故発生の抑制策として新たに会員の過失度合いにより、以下に示すような対応を取ることとしました。過失の度合いは事故検証委員会にて決定します。

## 過失区分と処置

区分	過失の度合い	会員への処置
注意勧告	・十分な事故防止対策をしていない場合	当該会員が原因を究明し、事故防止策を作成してセンターへ提出する。
嚴重注意勧告 (イエローカード)	・事故防止の対策がなされず、重大な過失があった場合 ・注意勧告が累積 3 回となった場合(期限:3 年間)	事故防止対策の提出に加え、就業日の報告義務付けと安全委員による対策実施の確認を受ける。
就業制限 (レッドカード)	・嚴重注意勧告後 1 年以内に事故を発生させた場合	就業停止(1 か月程度)

また、昨年度に引き続き飛石軽減刃(ハヤブサ)についてアンケートを行い、約 9 割の会員より飛石軽減の効果あり、との結果を得ました。

### ⑥ 飛石軽減刃(ハヤブサ)の斡旋

斡旋実績 470 枚(斡旋価格¥1,000)

### ⑦ 安全標語の募集

上田地域シルバー人材センター独自に、安全標語の審査を行い下記作品が選ばれました。

応募作品 62 点は、県連合会の安全適正就業標語にも応募しました。

そのうち 加藤 重子さんの標語が県連合の佳作に選出されました。

(敬称略)

氏名	作品	地区	受賞
長谷屋 泉	安全は 基本作業の 積み重ね	丸子	最優秀賞
佐藤 洋平	安全は 身支度 段取り 整えて	上田	優秀賞
両角 澄子	気をつけて 慣れた過信に ひそむ事故	丸子	優秀賞
山田 昌志	ひと呼吸 ひと手間惜しまず 安全確認	上田	優秀賞
中澤 芳江	無理しない やめる勇気で 事故防ぐ	東御	優秀賞
荻原 隆史	忘れまい ヒヤリハットの あの時を	東御	優秀賞
加藤 重子	慣れた場所 いつもの作業と 指差し呼称	東御	県連合 佳作

#### (4) 広報委員会

会員への情報提供や会員同士の交流を目指して「上田地域シルバーだより」を年7回、「お知らせ版」を毎月発行しました。紙面の編集にあたっては、コロナ禍の為、予定されていた行事の大半が中止となり、掲載記事が激減し、会員への情報発信に苦慮しました。

会員の現場の様子を紹介する「働く仲間を訪ねて」をシリーズ化とし、会員の声を紹介する「ささえる」コーナーなど掲載したほか、配分金支払日のお知らせ等、会員に親しめる広報づくりと細かな情報提供に努めました。

また、全面カラー化と大きな文字や写真を多用し、読んでいただきやすい紙面作りに努力しました。

センターの事業内容や活動を中心としてホームページの内容は随時更新するとともに、会員への就業案内や情報伝達を図るため、携帯メールを活用した情報発信システムの運用と、登録者の拡大を図りました。

(ホームページアクセス件数) 令和2年度実績

トータルアクセス数	50,893
トップページ	10,459
センターのご紹介	8,486
お仕事をしたい方	6,507
お仕事を頼みたい方	8,872
活動情報	8,115
観光ガイド	4,851
その他(お知らせ一覧等)	3,467

(携帯メールサービス登録会員数) 令和2年度実績

就業案内登録	472 件
情報発信件数	107 件

#### (5) 女性班「きずな」

女性班の名称を「きずな」として9年目となりました。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、女性会員の知識向上の講習会、ボランティア活動、親睦交流会、全体集会等が開催出来ない状態でしたが、各地区で工夫を凝らしてフラワーアレンジメント講習会、認知症講習会、わら細工のリース作り講習会を行い、女性会員の横の繋がりを強化するように努めました。また、令和3年度の活動に繋げていくため会員拡大と就業開拓について検討しました。

## (6) 氷見市シルバー人材センターとの交流

姉妹提携を締結している（公社）氷見市シルバー人材センターとは、会員互助会が主体となって、隔年交代で相互に訪問し、双方の事業内容等の研修を通して、交流を深めています。

令和2年度は、当センターから氷見市を訪問し、氷見市シルバー人材センター理事長をはじめ、互助会組織の「さくら親睦会」の皆様と意見交換を行う予定でしたが、新型コロナの感染拡大防止対策の観点から中止することとなり、その旨を通知するとともに、令和3年度に再開できることを期待し、互助会だより等を相互交換しながら情報交流を行いました。